



# 中テレSDGsアクションレポート

ふくしまを盛り上げるテレビ 2023年4月～2024年3月



福島中央テレビは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

中テレSDGs特設ページはこちら

株式会社 福島中央テレビ 福島県郡山市池ノ台13-23 024-923-3300(代表)

# 2024

# 「共に進む」

# SDGsで繋がっていく輪

## 「ふくしま子育て応援隊」キャンペーン開始

「子どもとママ・パパを笑顔にしたい!」を合言葉に、福島民友新聞社と共に2023年4月「ふくしま子育て応援隊 ～smile & smile～」をスタートさせ、新聞紙面とテレビ放送が連動した子育てに役立つ情報を発信。子育て世代の交流の輪を広げるイベント運営に取り組んでいます。



## 「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」が5年目に突入

これまで県内で拾ったごみの量は15トンを超えました。その間に多くの方々と交流を深めごみ拾いの輪を広げています。



## 広がる企業団体との繋がり

### 猪苗代中学校と環境教室を開催

「第1回ふくしまSDGsアワード」をともに受賞した団体の一つ、猪苗代中学校と連携してごみ拾いイベントの中で環境教室を実施。生徒が育てたコキアを使った<sup>ほっき</sup>箸づくりを参加者が体験し猪苗代中学校の取り組みを広く知ってもらいました。



### ふくしまSDGs推進プラットフォームでの連携

福島県が主催する「ふくしまSDGs推進プラットフォーム」を通じて郡山ザベリオ学園中学校の授業に出張し、SDGs活動における課題を生徒と共に考え解決に向けて協議しました。



### 郡山市主催のセミナーで事例発表

「こおりやまSDGsアワード」受賞団体として市が主催する企業向けSDGsセミナーで自社の取り組みを発表しました。



### FUKUSHIMA SDGs ACTION 始動

東邦銀行と共同で企業のSDGs活動や取り組みを応援するプロジェクトを立ち上げました。これまでに多くの企業・団体が参加し、福島県民にSDGsの輪を繋げています。



2023中テレSDGsアンバサダー

野尻 英恵アナ・鈴木 文健



番組を通じた啓発  
のべ視聴者数

約**612**万人\*

対象期間：2023年4月～24年3月

啓発CM  
15秒

**636**本

各地域団体への  
チャリティ額

約**20**万円

## SDGs推進のための啓発CMを放送中!

21年度からこれまでに19種類の15秒啓発CMを放送。省エネや生ごみ削減などの身近なテーマでSDGsへの意識向上を図っています。



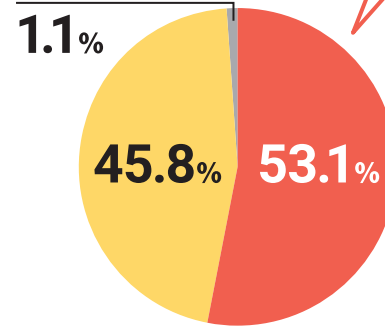
※対象番組：ブンケン歩いてゴミ拾いの旅(48回)、ふくしま未来ストーリー(番組24回、ゴジてれChu!コーナー12回)、海と日本プロジェクトミニ番組(30回)を対象に、福島県の人口と個人視聴率を用いて福島中央テレビが推計した人数です。

認知度は98.9%に!**77.8%**がテレビがきっかけで認知  
4年間続けた成果!全ての項目で大幅アップ



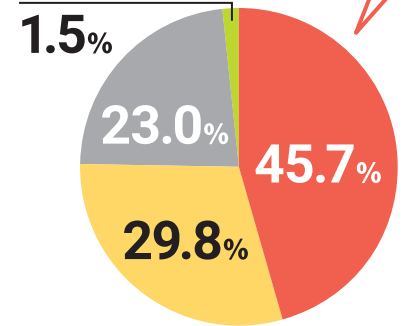
認知度 | 88% → **98.9%**  
関心度 | 46% → **75.5%**  
実行度 | 25% → **44.0%**

### SDGsを知ってる?



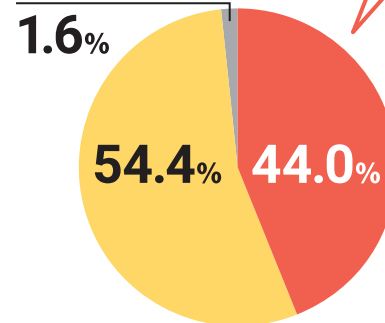
■聞いたことがある ■よく知っている ■聞いたことはない

### SDGsに関心はある?



■関心がある ■既に取り組んでいる ■関心はない ■無回答

### 実際に取り組んでることはありますか?



■ある ■ない ■無回答

### テレビが動き出すきっかけに

認知度が90%を超えてほぼ全ての福島県民がSDGsを知っている状況で、関心度も大幅に高まっていることが分かります。一方で実行度は40%台となっており、具体的な取り組みをする人を増やしていくことが課題です。ただ、アンケートによると、ごみの減量やエネルギーの節約、フードロス対策などを実践している人が多く、「ブンケンさんのテレビCMを視聴して『手前取り』を意識しています」といったコメントもあり、テレビ放送をきっかけにSDGsへ関心を寄せ行動に移している人も多い状況です。今後もテレビ放送が県民の行動に直接繋がるとの意識の元で、テレビによって県民とSDGs活動をどう結び付けていくか考え、社会課題の解決に貢献していければと思います。

毎年アンケート調査を実施 中テレアプリで県民アンケート  
実施期間：2024年3月4日～18日 回答数：1594人(10代～60代男女)



# 環境課題 に対する取り組み

福島県は生活系のごみ排出量で都道府県ワースト2位(2020年度)という状況を改善するため、番組やイベントを通して県民の「ごみ」に関する問題意識向上を図り、「捨てない・拾う」から「ごみ減量」まで様々な角度から啓発活動を行っています。

## ごみ拾いを県民運動に!

県内を歩いてごみ拾い

4年間で約 **15.17** トンを回収

歩いた距離

**2,475** キロ

(2020年1月1日~2024年3月25日)



11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう



**Chu!** 毎週 月曜日  
午後 3:50~4:45  
Hulu、中テレYouTubeチャンネルでも配信中

夕方情報ワイド番組「ゴジてれChu!」の人気コーナー。ブンケンさんが県民と触れ合いながら59市町村の様々な場所でごみ拾い活動を展開しています。少しでもごみを減らし、捨てる人がいなくなるよう持続可能な環境美化を目指しています。



2020年の元旦からスタートしたごみ拾いは5年目に入りました。落ちているごみは拾えばふくしまがきれいになる“希望の力ケラ”。地域の方と交流しながら歩いてごみ拾いをしています。

YouTube累計再生回数

**30万1947**回

(2020年配信開始~2024年3月25日放送まで)

コーナーのべ視聴者数

**305万8278**人

## 様々な企業や団体・学校の皆さんと一緒にごみ拾い! ごみ拾いの輪が広がっています

地域の方が一緒にごみを拾ってくれたり、「私もごみ拾いを始めました」というお便りをいただいたりと、ごみ拾いの輪が広がっています。学校や地域のイベントなどで子どもたちとごみ拾いを行う“番外編”の放送も。地域のみなさんと連携しながらごみ問題への意識向上に取り組んでいます。



### 海ごみ削減プロジェクト

県内一斉清掃活動  
団体のべ70団体 **合計 2,128**人が参加



## 合計14回の清掃活動実施で、3,130人参加 産官学民のべ94団体と連携!

6月	県内一斉清掃 いわきFC「海ごみゼロDAY」
7月	スポGOMIワールドカップ2023 福島STAGE @四倉海岸 体育会ナビカップ 関東JUNKOオールスター大会2023 清掃活動 第17回GIANTS杯福島県中学野球大会 清掃活動
9月	県内一斉清掃 クリーンアップの輪を広げよう!大作戦!
10月	スポGOMI甲子園2023 福島県大会
2月	いわきサンシャインマラソン2024 開催記念イベント クリーンアップRUN
9~1月	ブンケン隊長につづけ!はじめてごみひろい 全5回

### 清掃以外の活動も

## Youth Symposium

日頃からボランティア活動や清掃活動に積極的に取り組むいわき市と郡山市の高校生が集結し、行動心理学から学ぶ「なぜ、人はポイ捨てをするのか?」と題した「Youth Symposium」を開催しました。

## ブンケン隊長につづけ!はじめてごみひろい

早い年齢からごみ拾いを体験しポイ捨て抑止の意識を高めるため「親子ごみ拾い体験イベント」を企画。鈴木文健さんをアンバサダーに起用し、ブンケンさんとの交流を通じて子どもたちの記憶に残るプログラムとして展開しました。

## 白河だるま総本舗コラボ商品「海だるま」

美しい海を取り戻そう!という願いを込めて、日本の伝統吉祥和柄である青海波をあしらった白河だるま「海だるま」を発売しました。

## 福島県知事も活動に参加!

2023年4月には「ブンケン歩いてゴミ拾いの旅」のコーナーに内堀雅雄福島県知事が出演しました。内堀知事は「このポイ捨ての厳しい現状を、自分自身がごみ拾いしながら実感したい」と語り、ブンケンさんと一緒にごみ拾いを行いました。





# 社会課題 に対する取り組み

健康・子育てに関するイベントやごみ減量アイデアのコンテストなどを通して、課題を自分ごととして考えるきっかけづくりを行っています。

イベント 2023年9月30日(土)

## ふくしま親子収穫体験会

メタボリック症候群や食塩の過剰摂取など、県民が抱える健康課題について楽しく理解し克服してもらうための体験会が開かれ、小学生と保護者25人が参加しました。福島市の農園「かんたファーム」で旬の野菜を収穫し、健康増進を目指した減塩レシピを調理して、野菜本来のおいしさを知ってもらいました。



## 県内のごみ減量を啓発

福島県は1人1日あたりのごみの排出量が3年連続でワースト2位(※)。

そのため、この問題を周知し県民に自分ごととして捉えてもらえるよう、県と協力してキャンペーンを展開(キャッチコピーコンテスト、アイデア動画コンテスト)。中テレが得意とする発信力で、「ごみ減量」を訴えました。

※一般廃棄物処理実態調査結果(環境省)



## ふくしま子育て応援隊 キャンペーン



子どもの笑顔を見つとつい笑みを浮かべてしまうように、子育て世代を応援することによって、地域に笑顔の連鎖を作っていく。親の笑顔が、子どもの笑顔につながる、子どもの笑顔が、地域

の笑顔につながる「子どもとママ・パパを笑顔にしたい!」を合言葉に、福島民友新聞社と共に2023年4月「ふくしま子育て応援隊 ~smile & smile~」がスタートしました。毎月1回、新聞紙面とテレビ放送が連動した特集企画を実施し、子育てに役立つ情報を発信しています。そして6月のオープニングイベントを皮切りに、24時間テレビや地元お祭りへのブース出展(使わなくなった化粧品を利用したSDGsスライムづくり、わたあめづくり)、野菜の収穫体験など、親子で楽しめるイベントを実施。2024年3月の中テレ祭りでは、もう読まなくなった絵本を次の家族へ譲る「絵本おゆずり会」を実施しました。また、LINEオープンチャットを活用した、ふくしま子育て交流部屋「Smile!ルーム」を運営しています。子育て中のママ・パパたちが気軽に集まって情報交換したり、励ましあったりできる場所です。今後も裾野を広げながら、子育て世代を応援していきます。



イベント 2023年8月25日(金)~27日(日)

## ふくしまSOCIAL ACTION in メタバース

2023年度の24時間テレビの取り組みの1つとして、バーチャル空間内で大学生や高校生がリモートで参加し、社会課題を議論するイベント「ふくしまSOCIAL ACTION inメタバース」を開催。

中テレのコーナー『ブンケン歩いてゴミ拾いの旅』でも問題となっている「おしっこペットボトル」の現状や、「若者の地方離れ」について意見を交わしました。参加者からは、「改めて社会課題や周りの意見を考える良い機会になった」「学びの多い貴重な時間になった」といった感想が寄せられました。未来をより良くするために私たちはどうすればいいか。これからの社会を担う若者らが、メタバースという空間で志を共にする同世代と繋がった時間となりました。



# 経済課題 に対する取り組み

SDGsに取り組んでいる企業や団体、個人など「プレイヤー」の皆さんを通年の番組や日テレ系のキャンペーンウィークで紹介。県民への認知や活躍の場を広げるきっかけづくりを目指します。



SDGsに取り組む企業や団体の思いに迫る「ふくしま未来ストーリー」は、これまでに58の企業・団体を紹介

平均個人視聴率 **2.8%** (日曜放送) **6.1%** (ゴジれ放送)  
 推計視聴者数 **243万人** のべ

対象期間：2023年4月～24年3月 ※ゴジれChul内放送も含む

ふくしま未来ストーリー  
特設Webサイト



ふくしま未来ストーリー放送フレーム

- 1 ゴジれChul報道枠で放送
  - 2 第一日曜日に放送「未来ストーリー」
  - 3 Webでアーカイブ/第四日曜日に再放送
- 計3回の放送 + webアーカイブ

番組提供：東洋システム

毎月 第一日曜日 に放送 日 0:45～1:00 再放送/毎月第四日曜日

2023年	ヨークベニマル	郡山市	遊び場に食品ロス対策など 持続可能な社会を目指し地域に貢献するスーパー
4月	SDGsトピックス	県内	自転車のヘルメットの着用が努力義務化
5月	そうまIHグリーンエネルギーセンター	相馬市	地球環境に優しい新エネルギー「グリーンメタン」
	デジタル田園酒場 かんます	会津若松市	居酒屋「かんます」デジタル機器を使った新しい日本酒の楽しみ方
6月	浅野燃系双葉事業所	双葉町	双葉町で世界に誇るモノづくりを発信
	食堂カフェ ハレの日	会津若松市	善意の輪が広がる「お互いさまチケット」
7月	会川鉄工	いわき市	風力発電機の柱を製造 再生可能エネルギーの分野で日本をけん引する
	会津若松市観光ウェブサイト「Visitory」	会津若松市	街の活性化へ一役 飲食店のおすすめメニューなどを掲載
8月	日本盲導犬協会仙台訓練センター	仙台市	視覚障がい者に寄り添い自由を支える盲導犬
	凸版印刷スマートシティ推進部	会津若松市	地元の野菜を地元で消費「ジモノミッケ！」
9月	福島RDMセンター	浪江町	「洋上風力発電」の基盤を効率よく、コストを抑えて建設
	工房もものたね	伊達市	女性の障がい者を応援する就労支援施設
10月	陽と人	国見町	女性の悩みに寄り添った「フェムテック」化粧品
	一般社団法人みらいの光	福島市	社会全体で支える 障がい児や難病児のケア
11月	サントリーグループ	東京都	ペットボトルは資源 水平リサイクル
	もったいない会津	会津若松市	資源を大切に 古着のファッションショー
	CARNIVAL WORKS	郡山市	身近な社会課題の解決を目指す
12月	会津ゼナールホールディングス	会津若松市	就業前のストレッチなど 健康経営に力を入れる企業
	株式会社有明	郡山市	会社に社員が自由に使えるジム
	チケット販売大手「びあ」	東京都	エンターテインメントは人の心を豊かにする エンタメを新たな目標に
2024年	逸品の店 勇菴	郡山市	規格外品のトウモロコシでコーンスープ
1月	タバスケ 運営：株式会社G-Place	京都府	食品ロスを減らすマッチングサービス「タバスケ」
	リコージャパン株式会社福島支社	郡山市	避難所にもなるオフィス
2月	SDGsトピックス	県内	「高齢者の孤立死」を減らす取り組み
	三義漆器店	会津若松市	環境に配慮したプラスチック素材を製造
3月	SDGsトピックス	福島市	高齢者のおでかけを支援「土船おでかけサポート」

「ふくしま未来ストーリー」は、様々な企業や団体と連携したSDGs推進を目指します。



## ふくしまから 地球に良いこと考える1週間

日テレ系のキャンペーンに合わせて、自社制作番組の料理コーナーでは「フードロス削減レシピ」というテーマで食材の活用アイデアを紹介、フードロスへの意識向上をはかりました。



# 社内での取り組み

2021年10月、SDGsへの認識を高め、さらなる行動の活性化を支援する国連の「SDGメディアコンパクト」に加盟しました。社内でも様々な取り組みを進めています。

## 2024年3月



福島で収穫されたおいしいフルーツをふんだんに使った中テレ祭りオリジナルのクラフトコーラ・Chulers(チュアーズ)。規格外などで売れ残ってしまう果物を活かして新たな命を吹き込みました。

## 中テレ祭りでの取り組み

自社イベント「中テレ祭り」でSDGsに関連するコンテンツを展開しました。



## きぼう smileルーム

子どもたちや家族みんなが笑顔になれるファミリー向けのコーナー。会場には子育てに役立つ情報や子どもたちが遊んで学べる体験ブースを設置したほか、人気ママタレントのトークイベントを開催し交流の輪を広げました。



## Chu-let

Chu-letは福島中央テレビのアパレルブランドです。地域経済の活性化やCO2削減に通じる地産地消を目指し、福島県が世界に誇る“素材”を組み合わせた製品を販売しました。

## 2021年11月～

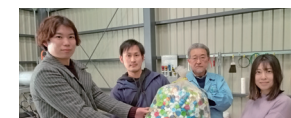
### 社会福祉施設との連携プロジェクト

21年からスタートした循環型農畜協働プロジェクト。社会福祉法人「にんじん舎の会」と連携して社員食堂で発生する残さを飼料化しています。23年4月～24年3月までに回収されて再資源化された量は1.14トン。残さは鳥の餌に生まれ変わり、育てた会津地鶏の卵を使ったシフォンケーキなどを社内販売しました。資源循環で気候変動対策に寄与するとともに、知的障がい者のみなさんの活動機会創出を実現しています。



## 2021年～

### ペットボトルの資源化



社内で出たペットボトルは分別回収し、再生プラスチックの原料として再資源化しています。今年度の回収量は750キロで、22年度末からはペットボトルキャップを油化し、再資源化する取り組みもスタートしました。

## 2022年～

### 電力を100%再エネへ移行

本社内の電力を再生可能エネルギーの電気(CO2フリー)に100%切り替えました。これにより年間約950トンのCO2排出を削減します。

### 省エネの推進

社内の照明をLED化、さらに省エネ型の空調設備等の導入により、前年同期比20万8683kw削減となりました。これは一般家庭(4人家族)が1年間に使用する電力量の約43軒分に相当します。

## 不定期

## 社内研修会



SDGsに関する知見を深めることを目的として、不定期で社内勉強会を開催しています。今年度は「エネルギー」をテーマにゲストスピーカーを招き、昨今の電力事情や企業経営におけるGX(脱炭素経営)の重要性について学びました。



# 地域・企業団体 と連携した取り組み

23年度に連携した各自治体との取り組みマップ

**福島市**  
県内一斉清掃

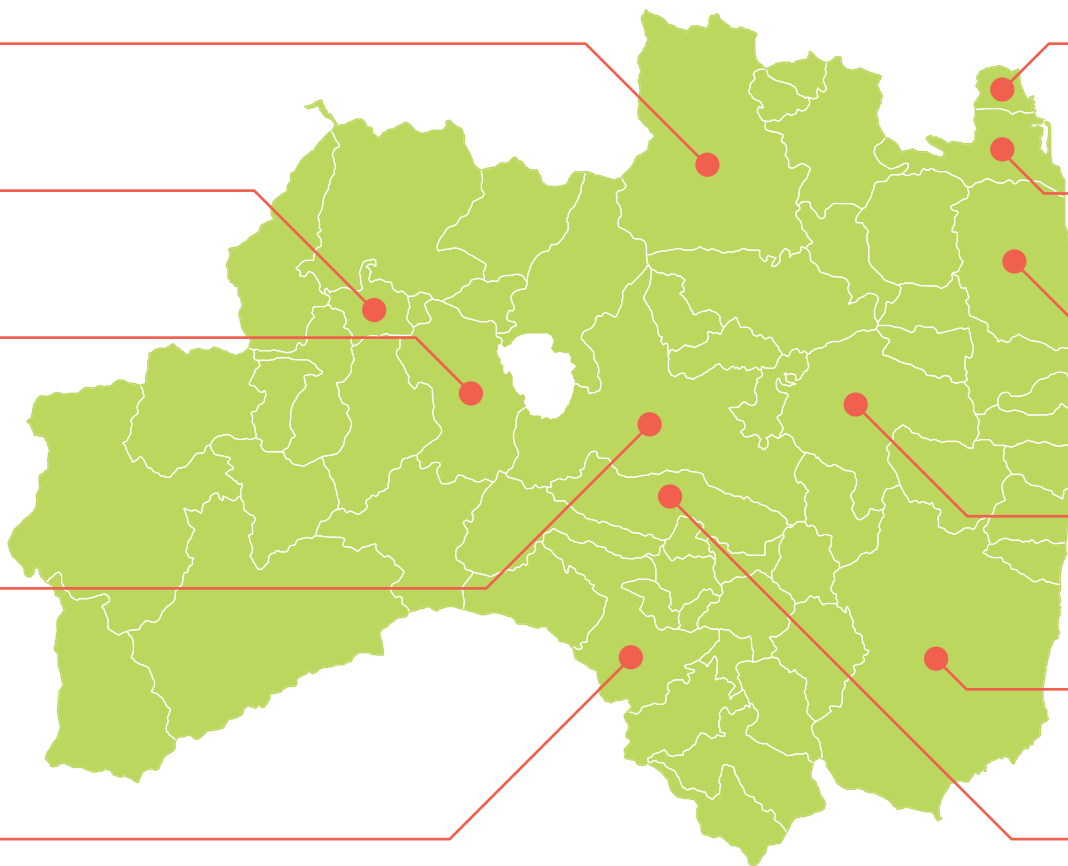
**会津坂下町**  
県内一斉清掃

**会津若松市**  
県内一斉清掃

**郡山市**

- ・県内一斉清掃
- ・こおりやま広域圏企業向けSDGsセミナーでの事例発表
- ・郡山ザベリオ学園中学校と共同でSDGs活動における課題の解決に向けた取り組み

**白河市**  
県内一斉清掃



**新地町**  
県内一斉清掃

**相馬市**  
県内一斉清掃

**南相馬市**  
県内一斉清掃

**田村市**

- ・にこたむfes.
- ・県内一斉清掃

**いわき市**  
県内一斉清掃

**須賀川市**  
県内一斉清掃

福島県

- ・オールふくしまごみ減量大作戦
- ・ふくしま親子収穫体験会
- ・内堀知事とごみ拾い



東邦銀行

ふくしまSDGsアクション  
「未来へ、福つむぎ」

1つ1つは小さいけれど、みんなが少しずつがんばれば大きな活動になる。地元地銀の東邦銀行とタッグを組み、福島の企業のSDGsを発信。





# ふくしまの課題解決＝ ふくしまを盛り上げる

## 福島をひとつの大きな輪に！

2023年度はこれまで続けてきた私たちの活動が浸透してきたと実感することが多くありました。自治体主催のセミナーで事例発表を行ったり若い世代と共にイベントを開催したりできたのは、地域の皆さんが日々の活動に目を止めて、賛同して、声を掛けていただいたことにほかなりません。

また、社会のことを考えた商品の開発など新たな形での課題解決への提案が少しずつ結実しています。

一方で、実際に行動へ移していく人たちを更に増やさねばならない課題も残っています。放送やイベントを通して県民の皆さんにきっかけを見つけてもらうこと、そして手を取り合って一緒に活動していくこと。それが私たちの命題です。

さあ、誰も取り残さない社会を作るために、誰かと一緒に大きな輪を広げていきませんか。

## 2024年度も動き出しています！



- ふくしま子育て応援隊では自治体や企業と連携して、親子で楽しく学べるイベントを企画していきます。

- 県民が参加できる清掃活動を継続しごみに関する問題意識を高め、引き続き県民運動化を目指します。



## 環境

- 番組 | ブンケン歩いてゴミ拾いの旅
- イベント | 海と日本プロジェクト  
ふくしま海ごみ削減プロジェクト  
猪苗代中学校との環境教室  
Youth Symposium
- その他 | オールふくしまごみ減量推進事業受託  
白河だるま総本舗コラボ商品「海だるま」発売

## 社会

- イベント | ふくしま親子収穫体験会  
ふくしま子育て応援隊  
ふくしまSOCIAL ACTION in メタバース  
オリジナルクラフトコーラ「Chulers」販売
- その他 | 郡山ザベリオ学園中学校へ出張授業  
郡山市主催セミナーでの事例発表

## 経済

- 番組 | ふくしま未来ストーリー  
Good For the Planet ウィーク
- その他 | 社会福祉施設と連携プロジェクト  
本社電力の100%再エネ化  
FUKUSHIMA SDGs ACTION  
GX・脱炭素経営について学ぶ研修会  
アパレルブランド「Chu-let」展開

24年度も地域のみなさまと連携して社会課題解決に取り組んでまいります。

